

第
48
回

ぴあフィルム フェスティバル

2026

Welcome!

初めての映画祭体験

PIF
PIA FILM FESTIVAL

10代は全プログラム500円!

2026.9.18(金)→26(土)

※月曜休館



国立映画アーカイブ (京橋)
National Film Archive of Japan



Welcome! 初めての映画祭体験へ! 「初めて」を大切にしたい映画祭です。

「初めて映画祭を体験する」というたくさんの観客と同じく、「生まれて初めてつくった」という映画も満載です。
はじめてつくる。はじめてみる。初体験への小さな勇気。その勇気を楽しさに変えるプログラムをご用意します。

6企画、57本の映画を上映します。

今年生まれた映画から、一世紀近く前に生まれた映画まで、

映画祭だから実現できる、時空を超え、“今”の私たちに語りかける映画の力が溢れます。

ゲストトークも、映画祭ならではの。上映後に、ここだけでしか聞けない裏話、創作の秘密の告白、
スタッフ・キャストの笑顔、人生のcockが増してくる話がたっぷり語られます。

「映画」は、誰でもどこでもどんなふうにも感じていい気楽な友達。

そして、軽やかに時代を超え、いつも新鮮な驚きを運んでくる魔法使い。

ここにご紹介するどのプログラムを選んでも、その時のその人にしか生み出せなかった情熱が、
あなたを包むでしょう。驚きや喜びとともに。

「映画祭」という最も自由な空間で、更に映画を楽しみましょう。

特に今年は、10代の初体験を応援すべく、特別割引を実施します!

※人名は敬称略とさせていただきます。

10代で観たい! 私を変えた映画たち

詳細は公式サイトへ→
(8月中旬アップ予定)



10代。それはPFFのキーワード。憧れのあの人が10代で心震えた映画を連れて、会場に。何が語られるのか、夢のプログラムを実現します。

Aマッソ加納(お笑い芸人) セレクト

🕒 9.18 🕒 14:30~

風変わりな一家のシュールな日常を描く不思議な一本。その他に、『スティング』(1973)、『ベルヴィール・ランデブー』(2003)も候補にセレクト。

『茶の味』



© 2003 茶の味 製作委員会

2004年/143分
監督:石井克人



本人
登壇

神田伯山(講師) セレクト

🕒 9.20 🕒 14:30~

美しい風景と壊れそうな中学生の世界を描く衝撃作。『グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち』(1997)、『海がきこえる』(1993)も候補にセレクト。

『リリイ・シュシュのすべて』



© 2001 LILY CHOU-CHOU PARTNERS

2001年/146分
監督:岩井俊二



本人
登壇

うらら 麗(チョークューメイ/ミュージシャン) セレクト

🕒 9.19 🕒 11:30~

「さらにいくつもの人生」が描かれた、もうひとつの傑作。『菊次郎の夏』(1999)、『百万円と苦虫女』(2008)も候補にセレクト。

『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』



© 2019 この世界の(さらにいくつもの)片隅に 製作委員会

2019年/168分
監督:片淵須直



本人
登壇

ひだねね 稗田寧々(声優) セレクト

🕒 9.23 🕒 13:45~

人が動物化する近未来、変わりゆく世界で家族の絆を描くSFスリラー。『グリーンマイル』(1999)、『いまを生きる』(1989)も候補にセレクト。

『動物界』



© 2023 NORD-OUEST FILMS - STUDIOCANAL - FRANCE 2 CINEMA - ARTEMIS PRODUCTIONS.

2023年/128分
監督:トマ・カイエ



本人
登壇

ゆつきゅん(DIVA) セレクト

🕒 9.19 🕒 15:15~

ひとがひとを好きになることの美しさと残酷さを描いた傑作。『あの娘が海辺に踊ってる』(2012)、『君は裸足の神を見たか』(1986)も候補にセレクト。

『渚のシンドバッド』(英語字幕付き上映)



1995年/129分
監督:橋口亮輔



本人
登壇

朝井リョウ(小説家) セレクト

🕒 9.24 🕒 13:00~

足の不自由な少女と平凡な大学生の切ない恋の行方を描く永遠の名作。『PK』(2014)、『ラブ・イン・ザ・ビッグシティ』(2024)も候補にセレクト。

『ジョゼと虎と魚たち』



© 2023 『ジョゼと虎と魚たち』フィルムパートナーズ

2003年/116分
監督:犬童一心



第48回ぴあフィルムフェスティバル2026 タイムテーブル

詳細は公式サイトへ➡



国立映画アーカイブは11時開館です。開場時間は、上映時間の15分前です。

*プログラムおよび来場ゲストが予告なく変更になる場合もございます。ご了承ください。

日ごとに上映開始時間が異なりますので、ご注意ください。

G…作品上映後にゲストトークの予定あり。最新情報は公式noteにて更新中!

9.18 金	OZU		14:30～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『茶の味』 ゲスト:Aマッソ 加納(お笑い芸人)	18:30～ PFFアワード2026 『自由研究事変』『四次元悪魔』 『わからなくていいよ!』 ゲスト:松林美和、薛 大勇、芝田日菜
	小ホール		14:00～ PFFアワード2026 『ベルソナと俺』『夏と修羅』 『The Perfect Body』 ゲスト:藤井智也	16:30～ PFFアワード2026 『切ない後悔』 『火鉢』『THANK』 ゲスト:稲川悠司
19 土	OZU	11:30～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』 ゲスト:麗(チョークユーメイ/ミュージシャン)	15:15～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『渚のシンドバッド』 ゲスト:ゆききゅん(DIVA)	18:45～ PFFアワード2026 『薄情なゲーム』『残るものについて』 『ブルーな蛸の日』 ゲスト:清手 連、屋鋪柚人、脇 沙里亜
	小ホール	12:00～ 8ミリ映画リアル体験～PFFデジタルアーカイブ 日芸の衝撃! ヒーロー登場! 『突撃! 博多愚連隊』	14:30～ 8ミリ映画リアル体験～PFFデジタルアーカイブ 伝説の映研、立教パロディアス・ユニティ 『気狂いフィルム99』 ゲスト:笠原幸一(映画監督)	17:00～ こんな知らなかった!～日本の個性溢れるアーカイブ 福岡: 福岡市総合図書館① 『空、見たか?』『む』 ゲスト:松本圭二(福岡市総合図書館 アーキビスト)
20 日	OZU	11:30～ PFFアワード2026 『夜のバカンス』 『おむかえ』『バリ杉並区』 ゲスト:福島大我、三宅美和子、澁谷桂一	14:30～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『リリイ・シュシュのすべて』 ゲスト:神田伯山(講談師)	18:45～ PFFアワード2026 『BADLAND』 『そしてナイフを手にした』 ゲスト:一色咲良、クワ
	小ホール	12:00～ 8ミリ映画リアル体験～PFFデジタルアーカイブ 80年代の高校生 『レモン色の恋』『曼珠沙華』 ゲスト:関 顕嗣(映画監督)	14:15～ ハーバード大学・自主映画アーカイブ 『時を駆ける症状 The message from subway』 『ドキュメント輪禍 むちうたれる者』 ゲスト:七里 圭(映画監督)、アレクサンダー・ザルテン(ハーバード大学教授)	17:00～ インディペンデントの魂～追悼・トニー・レインズ① 『愛怨峡』『闇打つ心臓』 『ロンドン・コーリング』 ゲスト:長崎俊一(映画監督) ほか
21 月祝	休館日			
22 火祝	OZU	11:30～ PFFアワード2026 『A New Town』『隣に』 『母、長く赤い夜』 ゲスト:小池勇瀬、清家 天、若林みちる	14:30～ PFFアワード2026 『輪郭』『ささげにささげて』 『ジョージのハッピーロマンス』 ゲスト:初見弘貴、早川永納、市川雄大	17:30～ 特別ワークショップ「撮影」を考える 参考上映『悪は存在しない』 ゲスト:北川喜雄(撮影監督)、小林亮太(カメラリスト) 野村一瑛(映画監督)、入江生真(撮影)
	小ホール	12:00～ こんな知らなかった!～日本の個性溢れるアーカイブ 福岡: 福岡市総合図書館② 『佐藤忠男、映画の旅』 ゲスト:寺崎みずほ(映画監督)	15:00～ インディペンデントの魂～追悼・堀越謙三② 『イエローキッド』 ゲスト:真利子哲也(映画監督) 原 亮志(プロデューサー)	18:30～ 8ミリ映画リアル体験～PFFデジタルアーカイブ 幻のPFF初期入選作品 『ガラスの切符』 『悲しみの赤い自転車』
23 水祝	OZU	13:45～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『動物界』 ゲスト:稗田寧々(声優)	17:30～ インディペンデントの魂～追悼・堀越謙三③ 『アンモナイトのささやきを聞いた』 ゲスト:サエキけんぞう(主演)、麻生榮一(撮影監督)	
	小ホール	12:00～ PFFアワード2026 『BADLAND』 『そしてナイフを手にした』 ゲスト:一色咲良、クワ	15:00～ PFFアワード2026 『自由研究事変』『四次元悪魔』 『わからなくていいよ!』 ゲスト:松林美和、薛 大勇、芝田日菜	18:00～ PFFアワード2026 『夜のバカンス』 『おむかえ』『バリ杉並区』 ゲスト:福島大我、三宅美和子、澁谷桂一
24 木	OZU	13:00～ 10代で観たい! 私を変えた映画たち 『ジョゼと虎と魚たち』	16:00～ こんな知らなかった!～日本の個性溢れるアーカイブ 京都: 京都文化博物館 『祇園祭』『密談長屋』 ゲスト:森脇清隆(京都文化博物館 アーキビスト)	
	小ホール		13:30～ PFFアワード2026 『A New Town』『隣に』 『母、長く赤い夜』 ゲスト:小池勇瀬、清家 天、若林みちる	16:30～ PFFアワード2026 『薄情なゲーム』『残るものについて』 『ブルーな蛸の日』 ゲスト:清手 連、屋鋪柚人、脇 沙里亜
25 金	OZU		14:00～ こんな知らなかった!～日本の個性溢れるアーカイブ 東京: 国立映画アーカイブ 『鴛鴦歌合戦』『たそがれ酒場』『日本春歌考』 ゲスト:黒沢 清(映画監督)	
	小ホール		16:00～ PFFアワード2026 『輪郭』『ささげにささげて』 『ジョージのハッピーロマンス』 ゲスト:初見弘貴、早川永納、市川雄大	
26 土	OZU	11:30～ PFFアワード2026 『切ない後悔』 『火鉢』『THANK』 ゲスト:チョン・ワニ、中尾和空、稲川悠司	14:30～ PFFアワード2026 『ベルソナと俺』『夏と修羅』 『The Perfect Body』 ゲスト:藤井智也、川村圭夫、中島きり	18:00～ 第31回PFFプロデュース作品完成 『わたしはわたしのかなしみで』 ゲスト:石田忍道(映画監督) ほか
	小ホール	12:00～ こんな知らなかった!～日本の個性溢れるアーカイブ 東京: アテネ・フランセ文化センター 『三里塚・辺田部落』 ゲスト:堀 三郎(アテネ・フランセ文化センター 制作室 室長)	16:30～ インディペンデントの魂～追悼・トニー・レインズ② 『オーディション』 平林勇監督短編集『TEXTISM』『PENIS』『663114』 ゲスト:平林 勇(映画監督) ほか	

「コンペティション部門」PFFアワード2026

「PFFアワード」は自主映画のコンペティションです。834作品のご応募をいただき、入選した23作品を紹介します。
高校生監督も登場します。映像技術の進歩が、映画をより自由で、より挑戦を可能にした、映画の「今」をお届けします。
※各プログラム上映後には監督の登壇を予定しています。
※入選監督の年齢・出身地・所属などは応募時のものです。

詳細は公式サイトへ➡



グランプリほか受賞作品を10月14日🎫15日🎫に池袋BOX in BOX THEATERでアンコール上映します。審査員の発表は8月18日🎫を予定。

A

PFF Award
2026
Program

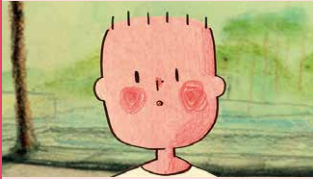
9.20🎫 18:45~
9.23🎫🎫 12:00~
小ホール

『BADLAND』82分
監督: **一色咲良** (24歳／愛知県出身)
東京造形大学 造形学部



奨学金という名の借金、掛け持ちバイト、油絵の制作費…。未来の見えない美大生のリアルな叫びが切なく響く。

『そしてナイフを手にした』12分
監督: **クワ** (29歳／中国出身)
東京藝術大学大学院 映像研究科アニメーション専攻



ゲームセンターで金を奪われるなど、小さな理不尽が積み重なる日々の中で、最後に少年が選んだのは――。

B

PFF Award
2026
Program

9.22🎫🎫 11:30~
9.24🎫 13:30~
小ホール

『A New Town』41分
監督: **小池勇瀬** (22歳／宮城県出身)
東京都立大学 人文学科



大学生のサクは、母が連れてきた少女ユキとの出会いで死んだ父を想い、無表情を見つめ合い、心を通わせる。

『隣に』33分
監督: **清家 天** (26歳／東京都出身)
フリーランス



母の異変に、小島は医学部を目指す隣家の横田に診察を依頼するが、予期せぬ展開にペースが滲む。

C

PFF Award
2026
Program

9.20🎫 11:30~
9.23🎫🎫 18:00~
小ホール

『夜のバカンス』54分
監督: **福島大我** (27歳／広島県出身)
会社員



哀しい気持ちを抱いた夜に、恋人と深夜の街を歩く。紡がれる二人の特別な時間は、闇と声のハーモニー。

『おむかえ』27分
監督: **三宅美和子** (25歳／岡山県出身)
早稲田大学 文化構想学部



夜間幼稚園に預けられた5歳のハナ。監督の幼少期の記憶から紡いだ、忘れてはならない、小さな眼差し記録。

D

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 18:30~
9.23🎫🎫 15:00~
小ホール

『自由研究事変』28分
監督: **松林美和** (22歳／熊本県出身)
大阪芸術大学 映像学科アートアニメーションコース



数千年後の地球。失われた前文明を求め、少年たちは閉ざされた扉を開ける。ノスタルジックな世界に胸が躍る。

『四次元悪魔』11分
監督: **薛 大勇** (25歳／台湾出身)
東京藝術大学 先端芸術表現科



挫折と嫉妬が渦巻くクラシック演奏会の夜、恩師のもとに集う教え子たち。衝撃のラストは見逃し厳禁！

PFFアワード賞一覧

【審査員が選ぶ賞】
グランプリ…… 映画監督として最も期待したいつくり手に贈られます。
準グランプリ…… グランプリに迫る才能を感じさせるつくり手に贈られます。
審査員特別賞…… 無視することができない才能を感じさせるつくり手に贈られます。

【オフィシャルパートナーの選ぶ賞】
エンタテインメント賞(ホリプロ賞)…… 作品の優れたエンタテインメント性に対して贈られます。
映画ファン賞(びあニスト賞)…… 一般審査員の方々に選出される賞。『映画館で観たい』才能に対して贈られます。
Soaring Together賞(UAL賞)…… 観た人の心をそっと上向きにし、想いを後押ししてくれる作品に対して贈られます。
【観客が選ぶ賞】
観客賞…… 観客の人気投票により、最も高い支持を得た作品に贈られます。

E

PFF Award
2026
Program

9.19🎫 18:45~
9.24🎫 16:30~
小ホール

『薄情なゲーム』63分
監督: **溝手 連** (22歳／東京都出身)
日本大学 芸術学部



秘めた恋の駆け引きと抑えがたい嫉妬心が絡みあう。おしゃれな音と映像が織りなす2組のカップルのある一日。

F

PFF Award
2026
Program

9.22🎫🎫 14:30~
9.25🎫 16:00~
小ホール

『輪郭』29分
監督: **初見弘貴** (34歳／東京都出身)
会社員



視力を失った父と自分を、映画にしたいという想いから始まった。実の親子を撮影した、ある一日の物語。

G

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 16:30~
9.26🎫 11:30~
小ホール

『切ない後悔』14分
監督: **チョン・ワニ** (23歳／韓国出身)
弘益大学 フィルム&アニメーション



断念した映画づくりの先で動き出す、祖母と孫の愛おしい日々。ユーモアと温かさが心に染み渡る作品。

©びあ、ホリプロ、電通グループ、博報堂、一般社団法人PFF

PFFアワード2026

【審査員が選ぶ賞】
グランプリ…… 映画監督として最も期待したいつくり手に贈られます。
準グランプリ…… グランプリに迫る才能を感じさせるつくり手に贈られます。
審査員特別賞…… 無視することができない才能を感じさせるつくり手に贈られます。

【オフィシャルパートナーの選ぶ賞】
エンタテインメント賞(ホリプロ賞)…… 作品の優れたエンタテインメント性に対して贈られます。
映画ファン賞(びあニスト賞)…… 一般審査員の方々に選出される賞。『映画館で観たい』才能に対して贈られます。
Soaring Together賞(UAL賞)…… 観た人の心をそっと上向きにし、想いを後押ししてくれる作品に対して贈られます。
【観客が選ぶ賞】
観客賞…… 観客の人気投票により、最も高い支持を得た作品に贈られます。

H

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『ペルソナと俺』23分
監督: **藤井智也** (17歳／東京都出身)
東京都立工芸高等学校 グラフィックアーツ科



現実へ溢れ出す仮想世界。実体化したアバターとともに危機を乗り越え、自信の持てない高校生が自分と向き合う。

I

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『夏と修羅』44分
監督: **川村圭乃** (17歳／高知県出身)
高知学芸高校 映画研究部



疎外感に苦しむ女子高生ふたりが心を通わせながらも起こる学内の残酷を、高校2年の監督が鮮烈に描く。

J

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『わたしはわたしのかなしみで』
2026年／114分(予定)
ゲスト: **石田忍道** ほか

監督・脚本: 石田忍道／プロデューサー: 天野真弓／撮影: 芦澤明子／照明: 菟田大輔／録音・整音: 小畑智寛／装飾: 柴田博英／音楽: haruka nakamura／編集: 佐古瑞季／助監督: 岡田弥生／衣裳: 中村祐実／ヘアメイク: 根本佳枝／フードスタイリスト: 笈川端乃／制作担当: 畠中優歩

【出演】上川周作、橋 実果、北乃きい、平田 満、市毛良枝
番あ一路、宮田佳典、普久原傑人、飯田晴音、堀口孝吹、斎藤千晃、巻島みのり、八木美樹、槇本悠人、伊東都久

強力なスタッフ&キャスト陣が集結し、石田監督が長年温めてきた企画をついに実現へ！ 乞うご期待！

©びあ、ホリプロ、電通グループ、博報堂、一般社団法人PFF

PFFアワード2026

【審査員が選ぶ賞】
グランプリ…… 映画監督として最も期待したいつくり手に贈られます。
準グランプリ…… グランプリに迫る才能を感じさせるつくり手に贈られます。
審査員特別賞…… 無視することができない才能を感じさせるつくり手に贈られます。

【オフィシャルパートナーの選ぶ賞】
エンタテインメント賞(ホリプロ賞)…… 作品の優れたエンタテインメント性に対して贈られます。
映画ファン賞(びあニスト賞)…… 一般審査員の方々に選出される賞。『映画館で観たい』才能に対して贈られます。
Soaring Together賞(UAL賞)…… 観た人の心をそっと上向きにし、想いを後押ししてくれる作品に対して贈られます。
【観客が選ぶ賞】
観客賞…… 観客の人気投票により、最も高い支持を得た作品に贈られます。

K

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 16:30~
9.26🎫 11:30~
小ホール

『母、長く赤い夜』15分
監督: **若林みちる** (25歳／沖縄県出身)
武蔵野美術大学大学院 映像・写真コース



空襲の夜、幼子を背負って冷たいプールに飛び込む母のモノローグが、現代東京の風景に重なる痛哭の映像詩。

L

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『パリ杉並区』11分
監督: **澁谷桂一** (34歳／神奈川県出身)
フリーター



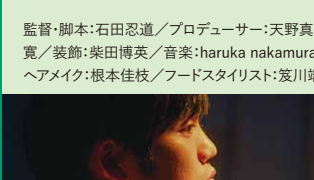
古いフィルムの質感と、キュートなヒロインのフランス語。現実をファンタジーに変える映画遊びが軽やかで楽しい。

M

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『わからなくていいよ!』57分
監督: **芝田日菜** (25歳／千葉県出身)
東京藝術大学大学院 先端芸術表現科



団地でパートナーと暮らす松は、理由なき苛立ちを抱えている。キョンの骨を見つけ、心に小さな変化が訪れる。

©びあ、ホリプロ、電通グループ、博報堂、一般社団法人PFF

PFFアワード2026

【審査員が選ぶ賞】
グランプリ…… 映画監督として最も期待したいつくり手に贈られます。
準グランプリ…… グランプリに迫る才能を感じさせるつくり手に贈られます。
審査員特別賞…… 無視することができない才能を感じさせるつくり手に贈られます。

【オフィシャルパートナーの選ぶ賞】
エンタテインメント賞(ホリプロ賞)…… 作品の優れたエンタテインメント性に対して贈られます。
映画ファン賞(びあニスト賞)…… 一般審査員の方々に選出される賞。『映画館で観たい』才能に対して贈られます。
Soaring Together賞(UAL賞)…… 観た人の心をそっと上向きにし、想いを後押ししてくれる作品に対して贈られます。
【観客が選ぶ賞】
観客賞…… 観客の人気投票により、最も高い支持を得た作品に贈られます。

N

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 16:30~
9.26🎫 11:30~
小ホール

『火鉢』44分
監督: **中尾和空** (22歳／神奈川県出身)
武蔵野美術大学 映像学科



不安を抱えた青年が祖母と送る静かな一日。偶然出会った同じ境遇の学生と火鉢を囲み、温もりに触れる。

O

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『The Perfect Body』30分
監督: **中島きり** (17歳／石川県出身)
石川県立金沢泉丘高等学校



ストップモーションアニメで描く未来図は、映画があれば大丈夫！ クラムシ注入も怖くない！ 飛ばして行け！

P

PFF Award
2026
Program

9.18🎫 14:00~
9.26🎫 14:30~
小ホール

『わたしはわたしのかなしみで』
2026年／114分(予定)
ゲスト: **石田忍道** ほか

監督・脚本: 石田忍道／プロデューサー: 天野真弓／撮影: 芦澤明子／照明: 菟田大輔／録音・整音: 小畑智寛／装飾: 柴田博英／音楽: haruka nakamura／編集: 佐古瑞季／助監督: 岡田弥生／衣裳: 中村祐実／ヘアメイク: 根本佳枝／フードスタイリスト: 笈川端乃／制作担当: 畠中優歩

【出演】上川周作、橋 実果、北乃きい、平田 満、市毛良枝
番あ一路、宮田佳典、普久原傑人、飯田晴音、堀口孝吹、斎藤千晃、巻島みのり、八木美樹、槇本悠人、伊東都久

強力なスタッフ&キャスト陣が集結し、石田監督が長年温めてきた企画をついに実現へ！ 乞うご期待！

©びあ、ホリプロ、電通グループ、博報堂、一般社団法人PFF

「京都ぴあフィルムフェスティバル2026」開催決定！ 11月5日🎫～8日🎫、京都文化博物館フィルムシアターにて

【特集企画部門】Special Focus アーカイブはタイムマシーン!!

日本各地で映画が丁寧に保存され、その息吹を今現在に伝える活動が行われています。
そして、それらの映画は、驚くほど新鮮に私たちに届くのです。
映画保存がタイムマシーンであることを、10のプログラムで解き明かします。

詳細は公式サイトへ➡



8ミリ映画リアル体験 ～PFFデジタルアーカイブ

日芸の衝撃! ヒーロー登場!

🕒 9.19 🎫 12:00～
小ホール

『突撃! 博多愚連隊』

1978年入選／67分／**カラー**／監督:石井聰互(岳龍)



博多を舞台にアクション満載で描いた傑作。主演の志水正義は長らくドラマ「相棒」の大木刑事役として活躍。

伝説の映研、立教パロディアス・ユニティ

ゲスト: 笠原幸一 🕒 9.19 🎫 14:30～
小ホール

『気狂いフィルム99』

1982年入選／49分／監督:笠原幸一



未来を映すカメラが捉えた1999年からの警告。そこは、「No.9」という科学者に支配された世界で――。

こんなの知らなかった! ～日本の個性溢れるアーカイブ

福岡: 福岡市総合図書館①

ゲスト: 松本圭二 🕒 9.19 🎫 17:00～ 小ホール

伝説的なインディペンデント映画のデジタル化を推進する福岡市総合図書館の活動から、田辺泰志監督作品を紹介。映画黄金期には冒険の極みであった自主制作による劇場デビュー長編作『空、見たか?』と、1961年最大の話題となった日大新映研・足立正生の『枕』(One=1)に対抗して、京大映画部を立ち上げ制作した貴重な自主映画『む』(Zero=0)も上映。
上映後、コレクション秘話をアーキビスト・松本圭二氏に伺います。

『む』

1961年／16分／監督:田辺泰志



『空、見たか?』

1972年／102分／監督:田辺泰志
出演:吉沢 健、吉田日出子、殿山泰司
撮影:仙元誠三ほか



提供:福岡市総合図書館

福岡: 福岡市総合図書館②

『佐藤忠男、映画の旅』

2025年／98分／監督:寺崎みずほ
出演:佐藤忠男、秦 早穂子、イム・グォンテグ

福岡市主催「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」(1991～2020)上映作品の収蔵が、福岡市総合図書館アーカイブの始まりです。世界に誇る、類をみないアジア映画コレクションの実現に向けた、初代映画祭ディレクターである映画評論家、故・佐藤忠男氏の活動を伝えるドキュメンタリー映画。
本編で繰り返し語られる、南インド・ケララ州のアラヴィンダン監督『魔法使いのおじいさん』は、福岡市総合図書館にある!

ゲスト: 寺崎みずほ 🕒 9.22 火曜 12:00～ 小ホール



80年代の高校生

ゲスト: 関 顕嗣 🕒 9.20 🎫 12:00～ 小ホール

『レモン色の恋』

1982年入選／42分／**カラー**／監督:関 顕嗣



恋愛小説に憧れてしまった高校1年生の正人。ファーストキスと別れの間で揺れる、ほろ苦い青春群像劇。

『曼珠沙華』

1985年入選／22分／監督:仲田伊作



記憶を失った少年と誰にもなくなった街、そして赤い花を売る少女。不思議な出会いが導くファンタジー。

幻のPFF初期入選作品

🕒 9.22 火曜 18:30～ 小ホール

『ガラスの切符』

1977年入選／47分／監督:小林 仁



斎藤耕一監督『約束』を彷彿とさせる淡い恋愛譚。監督は30年以上「あきる映画祭」に携わり、昨年ご逝去された。

『悲しみの赤い自転車』

1978年入選／51分／監督:高橋浩一



好きな女性に出した偽りの手紙が引き起こす、郵便配達員の恋愛顛末記。当時の渋谷、原宿の佇まいも必見!

ハーバード大学・自主映画アーカイブ

ゲスト: 七里 圭、アレクサンダー・ザルテン 🕒 9.20 🎫 14:15～ 小ホール

『時を駆ける症状 The message from subway』

1984年／24分／監督:七里 圭



体が点滅し、段々消えていく奇病が広がる日本。1985年PFFで大島渚に高く評価された、当時16歳の七里圭のデビュー作。

『ドキュメント輪禍 むちうたれる者』

1969年／67分／監督:康 浩郎 *本作のみ16mmフィルム作品



万博前夜の大阪。労組支援の若手映像集団が、むち打ち症を通して高度成長期の痛みを描く前衛ドキュメント。

特別ワークショップ「撮影」を考える Special Workshop

詳細は公式サイトへ➡



撮影を、ポスプロ全体で捉えてみる。

北川喜雄撮影監督がカリリストの小林亮太氏と共に、若き撮影者たちと対話しながら、撮影の実践と意識を伝える。

『悪は存在しない』

🕒 9.22 火曜 17:30～
ゲスト: 北川喜雄、小林亮太、野村一瑛、入江生真



2023年／106分
監督:濱口竜介



北川喜雄●藤元明緒監督『LOST LAND』、濱口竜介監督『悪は存在しない』『ハッピーアワー』ほか、ドキュメンタリー映画、海外作品でも活躍。

参考
上映

© 2023 NEOPA / Fictive

京都: 京都文化博物館

ゲスト: 森脇清隆 🕒 9.24 🎫 16:00～

「映画撮影スタジオ」と「時代劇」は京都の代名詞。京都府が権利を持つ伝説の「祇園祭」は、当時衰退に向かう映画界に、時代劇の灯を掲げんと京都映画人が集結した「日本映画復興協会」による超大作であり、京都文化博物館で祇園祭の季節に上映されている。
そして現在、世界の若き才能が京都のスタジオで時代劇撮影に挑む「フィルムメーカーズラボ」で制作した『密談長屋』を上映。『祇園祭』製作背景や、現在の活動をアーキビスト・森脇清隆氏に伺います。



フィルムメーカーズラボ撮影風景

『祇園祭』

1968年／167分／**カラー**／監督:山内鉄也
出演:中村錦之助、岩下志麻、三船敏郎



東京: 国立映画アーカイブ

ゲスト: 黒沢 清 🕒 9.25 🎫 14:00～

9万本以上のフィルムを所蔵する国立映画アーカイブ。ここを会場に展開するPFFでは、溢れんばかりの映画があつてこそ企画として、黒沢清監督に於ける「日本映画三大歌合戦のものを」を一挙上映。その後、「映画の中で人が歌い出すと何が起こるか」をテーマに講演いただくという、異色の日を展開します。歌って、踊って、楽しそう!



『鴛鴦歌合戦』

1939年／69分／監督:マキノ正博
出演:片岡千恵蔵、志村 喬、ディック・ミネ



『たそがれ酒場』

1955年／94分／監督:内田吐夢
出演:小杉 勇、野添ひとみ、宇津井 健



『日本春歌歌』

1967年／103分／**カラー**／監督:大島 渚
出演:荒木 一郎、串田和美、小山明子



東京: アテネ・フランセ文化センター

シネマテークとして多彩な映画講座を開講、映画美学校の設立にも関与し、技術開発も促進。そして現在着々とすすむ小川紳介監督(1935～1992)作品を未来に繋ぐデジタル化プロジェクトから、成田闘争の記録の転換点となったと言われる、三里塚シリーズ第6作目の傑作を上映。このの小川監督は、山形で農業を営みながら撮った『ニッポン国古屋敷村』(1982)でベルリン国際映画祭を湧かせ、後の山形国際ドキュメンタリー映画祭創設へと繋がっていく。

ゲスト: 堀 三郎(同センター 制作室 室長) 🕒 9.26 🎫 12:00～ 小ホール

『三里塚・辺田部落』

1973年／146分／監督:小川紳介
撮影:田村正毅



©映画美学校

インディペンデントの魂

詳細は公式サイトへ➡



～追悼・堀越謙三(1945～2025)、トニー・レインズ(1948～2026)～

ミニシアター「ユロススペース」代表として製作、配給も手掛け、映画に新たなワールドワイドの時代をつくった堀越謙三氏は「映画大國なのに国立の映画大学がない不思議の国日本」で、東京藝大大学院映像研究科の創設に奔走した。
一方、どこにも属さずひたすら東アジアの映画を世界に発信し続けたトニー・レインズ氏は、バンクーバーとロッテルダムの映画祭プログラミングを通し、多くのアジア映画人たちに世界への扉を開いた。インディペンデントに生きたふたりを悼み、ふたりの「初めて」をプログラムします。

追悼・堀越謙三①

堀越氏初プロデュースの記念碑的作品。
宮沢賢治の世界を再構築しカンヌ映画祭でも絶賛。
デジタル化での東京初上映。上映後に当時の制作状況を主演のサエキ氏と撮影監督の麻生氏に伺う。

ゲスト: サエキけんぞう、麻生榮一 🕒 9.23 水曜 17:30～

『アンモナイトのささやきを聞いた』

1992年／70分／監督:山田勇男



追悼・堀越謙三②

堀越氏がその才を深く愛し、劇場公開を決断した真利子監督の東京藝大大学院修了作品。
作品の誕生からディレクターズカット版制作に至るまでの秘話を、上映後、真利子監督と原プロデューサーに伺う。

ゲスト: 真利子哲也、原 亮志 🕒 9.22 火曜 15:00～ 小ホール

『イエローキッド』

2009年／106分／監督:真利子哲也



追悼・トニー・レインズ①

🕒 9.20 🎫 17:00～ 小ホール

ゲスト: 長崎俊一 ほか

レインズ氏を日本へと導いた溝口健二作品。
氏が熱狂した『愛怨峡』と、1980年代の日本で衝撃を受け、夢中で世界へ紹介した長崎俊一監督作品を上映。
ゲストトークでその功績を伝える。

『愛怨峡』

1937年／89分／監督:溝口健二



『開打つ心臓』

1982年／72分／**カラー**／監督:長崎俊一



©長崎俊一

追悼・トニー・レインズ②

🕒 9.26 🎫 16:30～ 小ホール

ゲスト: 平林 勇 ほか

バンクーバーとロッテルダム。二つの国際映画祭で膨大な日本映画を紹介した1990年代。北野武と三池崇史の発見がことに著名だ。
2000年代は平林勇監督を熱く語り、常に若手を称揚した。

『オーディション』

1999年／115分／監督:三池崇史



©バサラ・ピクチャーズ

平林勇監督短編集
『TEXTISM』2003年／11分
『PENIS』2002年／3分
『663114』2011年／8分



Ticket Guide

チケットぴあにて、8月11日 火曜 20時より販売開始!

販売期限:各回上映開始時間まで [Pコード:556-556]



【チケット料金表】 ※全席指定席	一般	キャンパスメンバーズ 障がい者	10代特割
	PFFアワード2026 PFFプロデュース作品／特集企画部門	1,200円 1,800円	800円

※国立映画アーカイブ公式サイトで電子チケット販売はありません。
※国立美術館のキャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方は、ホール入場時に証明できるものをご提示ください。
ご提示のない方は入場できません。(障がい者の付添者は原則1名まで障がい者と同料金)

【購入方法】 チケットぴあ

① インターネットで購入	【座席選択:できる】
会場では発券できません。セブン-イレブンがファミリーマートで発券の上、ご来場ください。	
② セブン-イレブンで直接購入	【座席選択:できない】
店内のマルチコピー機よりご購入ください。 ※チケットぴあでの発券手数料、システム手数料は0円。 ※チケットの払戻、交換、再発行はできません。	
③ 会場窓口(1F受付)で購入	【座席選択:できない】
販売時間:各回上映開始の60分前～5分前まで	*12時以前に上映開始の回のみ11時から販売

当日会場窓口

第48回 ぴあフィルムフェスティバル 2026

— PFFは多くの方々の温かいご支援によって継続されています。厚く感謝申し上げます。 —

主 催



一般社団法人PFF



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan



公益財団法人
川喜多記念映画文化財団



公益財団法人ユニジャパン

オフィシャル
パートナー



特 別 支 援



一般社団法人
日本映画製作者連盟

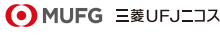
オフィシャル
TOPサポーター



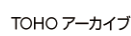
オフィシャル
サポーター



特 別 協 賛



協 賛

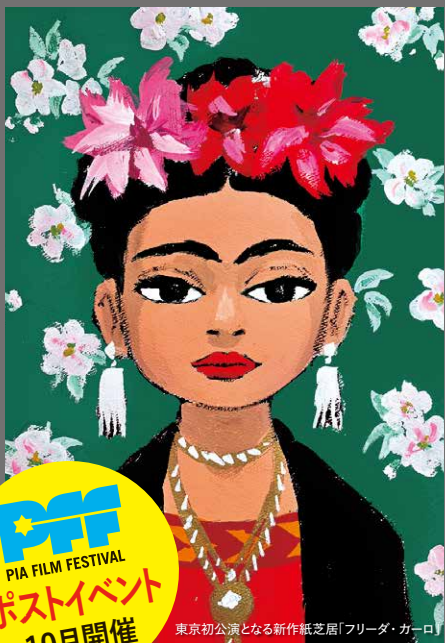


賛 助

アテネ・フランセ文化事業(株) / (株)伊藤園 / エイベックス・ピクチャーズ(株) / KANDO(株) / 京都芸術大学 舞台芸術研究センター / クエストルーム(株) / (有)スタンス / カンパニー / チケットぴあ九州(株) / チケットぴあ名古屋(株) / 鎌倉・今小路ブックストア / (株)PIVOT / フェリックス(株) / (有)フォルム / (有)プレス / (有)ヴォルテージ / (株)マジックアワー / (株)みずほ銀行 / (株)MOON LIGHT / (株)ロバート

後 援

特定非営利活動法人 映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会



『空飛ぶ紙芝居』を知っていますか？ 想像を超えたエンターテインメントを贈ります。

PFFのポストイベントとして10月に小劇場・池袋BOX in BOX THEATERにて、
新企画「自主映画から始まった新たな道」に挑戦します。

- ▶10月14日(水)・15日(木) PFFアワード受賞作上映 *プログラムは9月28日発表
- ▶10月16日(金)・17日(土)・18日(日) 新シリーズ「自主映画から始まった新たな道」
- 第一弾 空飛ぶ紙芝居「スパイスアサー702」公演

本年から「映画」以外のジャンルで活躍するPFFアワード入選者を紹介するプログラム「自主映画から始まった新たな道」を発進します！その第一弾となるのは、1984年にPFFアワードに入選した西尻幸嗣監督が生み出す新感覚エンターテインメント「空飛ぶ紙芝居」。

西尻監督率いる「スパイスアサー702」は、大阪を本拠地に、国内外を舞台に唯一無二の活動を続けています。彼らのオリジナル作品の数々は、紙芝居をベースにしながら、役者+ロックギタリスト+オペラ歌手+ピアニストで構成される、想像を超えた新感覚エンターテインメント。今回は、最新作であり、シアトリカルな仕掛けに満ちた「フリーダ・カーロ」を芯に据えたプログラム構成で、全5回公演を行います。言葉では説明できないこの驚きと喜びの時間！必見です！



2026 スパイスアサー702

チケット情報や公演詳細はこちらから→



2026 10.14(水)→18(日) BOX in BOX THEATER
「池袋駅」東口より徒歩約6分 / 東京都豊島区南池袋2-20-4

東京舞台芸術祭 2026 Open Call Programs 参加作品 東京舞台芸術祭